

## 平成30年度 学校評価アンケート（生徒・保護者）結果の考察

本年度も、生徒の皆さん、保護者の皆様に「学校評価アンケート」にご協力いただきました。自由記述でのご意見等も含めて、分析・考察した結果をまとめましたので、お知らせいたします。

### 1 学校教育目標について

現在の学校教育目標は西谷中にふさわしいと回答した生徒、保護者の方は、それぞれ90%以上あり、かなり定着していると考えます。また、学校教育目標の実現を目指した教育活動の展開について、保護者の方の認識は、学年が進むにつれて高くなる傾向があります。今後も、学校教育目標の実現を目指して、日々の授業や活動、学校行事等を充実させたいと考えます。

### 2 相談できる先生について

生徒の約7割、保護者の約8割の方が、「相談できる先生がいる」と回答されていますが、約3割の生徒がそう思っていない学年もあります。本校では、学級担任以外にも、学年主任や生徒指導専任、養護教諭、学校カウンセラー、SSWといった教職員が生徒のよりよい学校生活に向けて支援を行っています。生徒一人ひとりに寄り添い、生徒の話に耳を傾けながら支援できる環境をより一層、整えたいと考えます。また、保護者の皆様からご相談等がありましたら、ご連絡いただきたいと思います。

### 3 思いやりについて

「西谷中の生徒は親切で思いやりがある。」の質問では、8割以上の生徒が、「そう思う」と回答していますが、そう思っていない生徒も1割以上います。学校教育目標にも「自他の生命を尊重し」とあるように、自己肯定感を高めながら、他人を尊重し、思いやりの心を持ちながら協働できる生徒の育成を図っていきます。

### 4 体力の向上、健康増進について

約9割の生徒が、日々の授業や活動を通して、体力の向上や健康の増進が図られていると回答していますが、1割の生徒は、そう思っていないようです。体育の授業や各行事、部活動等、学校全体で体力増進に向けた取組を一層充実させてまいります。

### 5 生徒一人ひとりを大切にした教育活動

「西谷中では、生徒一人一人が大切にされていますか。」の質問では、生徒、保護者とも約8割の方が、「そう思う」と回答しています。しかし、保護者の2割の方は、そう思わないと回答していますので、生徒一人ひとりに寄り添った支援や指導を一層、充実させていく必要があると考えます。

6 わかりやすい授業について

学年により差がありますが、生徒の8割以上は、そう思うと回答しています。保護者の方の割合は、7割程度にとどまっています。また、1年では、4割の方が、わかりやすい授業は展開されていないと感じているようです。今後は、「学習の目標」を明示することや、生徒に見通しをもたせる工夫など、「わかる授業」を更に充実させたいと考えています。

7 「基礎的・基本的な知識・技能」の定着について

生徒と保護者の方では、意識の差が見受けられました。85%程度の生徒が、「そう思う」と回答しているのに対して、保護者の方は、60%台に留まっています。また、保護者の方の3割以上は、「そう思わない」と回答されています。また、「主体的な学習態度」については、約4割の保護者の方は、身に付いていないと思われています。

前項の「わかりやすい授業」の充実を図りながら、「基礎的・基本的な知識・技能」の習得と、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学ぶ態度」の育成を図っていきたいと考えます。

8 学校行事の充実について

この質問では、生徒・保護者の方のほぼ9割以上が、「そう思う」と回答されています。体育祭や文化祭、スキー教室、鎌倉遠足、修学旅行といった行事等につきまして、引き続き、内容等の充実を図ってまいります。

9 キャリア教育について

本校では、1年で職業講話、2年で職場体験を実施し、3年での進路指導につなげています。地域の方々を中心に、様々な業種、多くの事業所の方々にご協力をいただき、生徒は、実際の職業を体験することで、多くのことを学ばせていただいております。今後も、地域の方々や事業主の方々などのご協力を得て、キャリア教育を充実してまいります。

10 部活動について

生徒・保護者ともに約9割の方々が充実しているという評価でした。ただ、生徒の約1割は、そう思っていないという結果になっています。今後は、休養日の設定など、国や市教委のガイドラインを踏まえ、活動内容の充実と効率的な運営を工夫し、生徒が、バランスのとれた学校生活を送ることができるよう工夫改善してまいります。

### 1 1 目標をもった学校生活について

この質問については、生徒と保護者との感じ方の違いや学年間の相違が見受けられました。1年では、約90%の生徒が目標をもって学校生活を送っていると回答していますが、保護者では、約60%になっています。3年は、卒業後の進路についての意識が高まることから、生徒・保護者とも8割以上が目標をもって学校生活を送っているようです。学習活動や部活動など、学校生活の様々な場面で、目標をもって取り組むことはとても重要であると考えます。目標をもち、その達成に向けて具体的に取り組めるよう、支援・指導をまいります。

### 1 2 人とのコミュニケーションと思いやりのある行動について

学年ごとに異なる結果となっていますが、多くの生徒は、他の人とコミュニケーションをうまくとり、相手のことを考えて、思いやりのある行動を心がけているようです。今後は、コミュニケーションを苦手とする生徒への支援を充実させたり、学級での仲間づくり、集団づくりを充実させたりするなど、思いやりの心、協働性などを育てまいります。

### 1 3 中学校生活の充実について

1年では、生徒の約8割、保護者の9割以上の方が、充実した生活を送っていると回答しています。2年では、生徒が約7割、保護者が約8割です。3年では、生徒・保護者とも8割以上の方が、充実していると回答しています。

学校では、様々な場面において、一人ひとりが輝き、充実した学校生活を送ることができるよう、今後も支援を充実させてまいります。